

2018年9月7日 岡山県職員研修 「図解思考力向上講座」

県民への視点が抜け落ちていたことに気がつけてよかった。

一日中、頭を使い、ボーとする時間がなく、有意義に時間を過ごした。他者からの指摘で気づくことが多かった。県の仕事が多岐にわたっていることがわかり面白かった。

図解をすると関係性が見えてくる。問題意識がでてくる。こんなに頭を使うとは思っていなかった。以上が、新しい発見。明日からの仕事に活かせる。

最終目標を意識して描いていくと全体が見えて新たな発見があった。普段から数字や課題をあまり意識せずに仕事をしていたんだと反省。県の様々の部署の仕事がわかった。面白かった。アンテナを高くして仕事をしていきたい。

根拠法規も含めてあらためて見直すきっかけになった。

改善策を考える上でヒントが得られた。

県民意識が足りなかったことに気がついた。

よい図がつくることで、相手に伝えるスキルが飛躍的に向上しそうだ。

新しい考え方に触れた。

他の人の仕事について、質問を考えつつ聞くのが大変でした。

自分は頭が固い。

大きなヒントを得られた。

他の人たちの図を用いた発表を次々とみていくことは、非常に疲れた。

納得することが多い研修でした。

いままでの仕事に対する考え方、仕方は間違っていたのではないか？

言葉と丸と線だけでここまで表現できることに驚いた。

大変役にたった。大学時代に知っていれば卒業論文発表に工夫ができた。事業説明を行う際に利用する。

図解するなかで、うろおぼえ、知らないこと、わかっていないところが、浮き彫りになった。特に数値がまったく頭に入っていなかったと反省。職場、仕事の課題も見えてきた。

とても頭を使う作業。

引継書で活用。

疲れた。

図解には一人一人の個性がでている。

チラシやポスターに活かしたい。

自分の業務について深く考えることができた。